

○議長（井上光三君）

続いて、通告5番 7番成田守君の一般質問を行います。

7番 成田守君。

○7番議員（成田守君）

7番 成田守です。よろしくお願いします。私の今日の質問はただ1点、峡南医療センターに、本町はどのような支援を行うのか、このことを聞きたいと思えます。

それはなぜかと言いますと、私どもに寄せられてくる町民の皆さんの意見の中で、いわゆる「救急車を呼んだけれども来ない。」「先生と約束したけれども、そのとおりになっていない。」「予約時間を決めてもらっていても、その予約時間から2時間3時間経っても診てもらえない。」こういう声が入ってきているわけでありませう。

ところが、私が今回、9月にとんでもない自分自身の、いわゆる心筋梗塞という事態になった時に、実にその救急車の手配から手術の手配まで、完ぺきというか、9時30分に行ってから手術の終わる12時45分まで、これは搬送の時間も含めてで、これは完ぺきにできているわけです。この矛盾が、どうして起きてくるのかというのが一つの問題です。

私は自分のことに起きた問題については、今、峡南医療センターで行われている各種の改革プランの、いわゆる成功の結果ではないかというふうに考えました。なぜかと言いますと、私が最初に行った時に、受け付けをしてもらった女性の職員ですが、この職員の人の対応ですね、私の状態を見てそうなったのか、どうなのかよく分かりませんが、「ここでちょっとお休みください。」ということになって、すぐ先生、しかもそのときの先生は、いわゆる救急の先生は外科の先生だったそうなんです、たまたま内科の先生がおられて、その先生に連絡をされ、その先生が「ちょっと検査をしてみましよう」ということで紙を持ったまま、「申し訳ないけれども、救急車を手配してあるのでそっちに乗って、手配したとおりにしてください。」ということで、私が今、ここに立って喋れているわけです。そうしなければ、足がなくて、秋の幽霊なんて言うのは、まことに面白い幽霊になっていたかもしれません。

ということで、このことがなぜ大事かと言いますと、完ぺきにできているというこの時間を、全部経過をとってみると、実にうまくいっているわけです。このことができるということは、今、峡南医療センターが抱えているいろんな問題が解決できるという手掛かりになっているから、この町は、それではどうしてこの峡南医療センター持続のための支援をしていけるのかということを知りたいのであります。

ですから、その中では、人・物・金。これが支援の内容のすべてですので、ま

ず第1位にですね、人の支援を今後どのようにするのか、現状を踏まえた上で、現状こうだからこうなりますというようなことで答えていただければ、町の皆さんは分かりやすいのではないかと思います。

まず、人に対する支援というものが、どのように考えておられますか。

○議長（井上光三君）

まず第1にと言いましたけれども、通告は1つになっていますので、それを含めて答弁でよろしいでしょうか。

○7番議員（成田守君）

はい。お願いします。

○議長（井上光三君）

町長 志村学君。

○町長（志村学君）

成田守議員の峡南医療センターへの支援についてのご質問にお答えいたします。峡南医療センター企業団は、設立以来、2病院2介護老人施設が一体となり、急性期から回復期、在宅医療・介護に至るまで、地域全体で切れ目のない必要な医療と介護を提供することを基本方針に掲げ、地域医療と介護サービスを提供しているところであります。

今後も、これまでと同様に峡南地域医療・介護の拠点として、医療はもとより介護サービスも含め、地域住民に期待されるサービスを提供できるよう、町としても必要な人的、財政的支援を行って参りたいと考えております。以上です。

○議長（井上光三君）

7番 成田守君。

○7番議員（成田守君）

町長の言われるとおり、いわゆる人的、すべてのことについて、町を上げて峡南医療センターの支援をしていくという理解でよろしいでしょうか。

○議長（井上光三君）

町長 志村学君。

○町長（志村学君）

峡南医療センターにつきましては、当然、この地域、北部地域の核となる医療介護機関でありますので、今うちと市川三郷町と半分ずつ、フィフティフィフティの支援をしております。これは人的、財政的、ちょうど2分の1ずつの支援ですが、医療センターとも、常に会合も開いております。昨年からは順調な運営に入っておりますけれども、今期も非常に良好だという話が続いております。こういう中で、来年度どの程度、両町から人的支援、あるいは財政的支援が必要なのか、今しばらく今年度の様子を見てから、また、詳細についての話し合いが行われると思います。しっかりと支援をしていきたいという思いであります。以上です。

○議長（井上光三君）

7番 成田守君。

○7番議員（成田守君）

ただいまの町長のお答えで、よくわかりました。

それですね、私が今回受けたように、迅速に対応していただいて、この富士川町の医療というものが、本当に安心安全の基本になっているということを、まず、町外町内に知らしめて、この町に住んでもらうというようなことに結びつけていただければありがたいと思います。私の質問は終わります。

○議長（井上光三君）

以上で通告5番 7番成田守君の一般質問を終わります。